

# 食の安全管理について

(2013年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名		放射能被ばくから子どもを守るため、食の安全管理を万全にしてください
0	愛知県	<p>農畜水産物については、これまでに出荷制限指示の対象となった自治体及びその隣接自治体である17都県において出荷前の計画的な検査が実施されておりますので、県内に流通する食品については、食品衛生法に基づく基準値を満たしていると考えられます。</p> <p>なお、本県では、更なる安心を確保する観点から、17都県から出荷された農畜水産物等について、計画的に抜き取り検査を実施しています。</p> <p>本年4月から9月までに、県内流通食品について延べ50件の放射性物質検査を実施しましたが、いずれも検出限界未満又は基準値を大幅に下回る結果でした。</p> <p>今後も、計画的に県内流通食品の放射性物質検査を実施し、その結果をホームページ等で公表し、県民の皆様の食に対する不安の解消に努めてまいります。</p>
1	名古屋市	<p>平成24年4月1日から施行された食品中の放射性物質の基準値は、乳幼児をはじめ、すべての世代に配慮した基準となっています。</p> <p>東日本の17都県では、国の検査計画に基づいて、農畜水産物などを対象として放射性物質の検査が実施され、基準値を超えた食品が流通しないよう出荷制限等の措置が取られています。</p> <p>上記の措置により、市内には基本的に基準値を超えた食品は流通していないと考えています。さらに、本市では次のように対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出荷制限された食品が、中央卸売市場本場や市内を流通していないか監視しています。</li> <li>○ さらなる安全・安心の確認のため、東日本の17都県産の食品を中心に食品の放射性物質の検査を行っています。</li> </ul> <p>なお、検査結果はホームページで迅速に情報提供しています。</p>
2	豊橋市	<p>本市の学校給食では、厚生労働省が対象とした17都県で生産された農畜産物を学校給食に使用する前に放射性セシウムを測定し、公表をすることで保護者の学校給食に対する安心を確保しております。</p>
3	岡崎市	<p>学校給食においては、学校給食使用予定食材(17都県産)及び提供済給食(毎月5日分)の放射性物質スクリーニング検査を実施。</p>
4	一宮市	<p>[保育課]放射性物質の基準値を超える食品は市場に流通しないよう出荷制限がなされ安全性は保たれているという認識を持っています。また、給食で使用する食材は、地産地消を推進しており愛知県近郊の産地もしくは愛知県近郊以西の産地の食材を購入するよう努めています。</p> <p>[学校給食課]食品放射能検査機器を購入し、食材を検査します。</p>
5	瀬戸市	<p>引き続き、安全、安心で、おいしい給食づくりに努めてまいります。</p>
6	半田市	<p>学校給食における安心・安全を確保するため、平成23年9月から食材の産地公表を実施し、平成24年3月からは、加工品を除く食材と出来上がり1食分を放射能測定機により簡易測定し、その結果を子どもたちが給食を食べる前までに学校給食センターのホームページで公表しています。また、平成24年9月からは、愛知県教育委員会が実施する「平成24年度学校給食モニタリング事業」により、学校給食における放射性物質の有無や量を調べる検査を実施します。</p>
7	春日井市	<p>発表される情報に留意し、国内産材料や地元産物を基本に安全・安心な給食の提供に努めています。また、より安心していただくため、給食食材の産地と放射性物質測定結果を市のホームページで公表しています。</p>

市町村名		放射能被ばくから子どもを守るため、食の安全管理を万全にしてください
8	豊川市	学校給食では、食材については地産地消の観点から、豊川市内産若しくは県内産を優先して購入しています。しかし、それが無い場合は、他県のものを購入しますが、食材産地については、毎月ホームページ上で公開しています。そのうち東北地方などの17都県産のものについては、厚生労働省の公表する「食品中の放射性物質の検査結果について」等を参考にし、一部は、鉱石財団法人愛知県学校給食会に持ち込んで放射線量の測定を行うなど、食材の安全性について配慮をしています。保育園では、自園調理のため、各園で地元業者からそれぞれ食材を購入しております。食材は、食育と地産地消を推進する観点から基本的には地元の食材を使用しています。また、食材等の安全性が不安視されるような情報を得たときは、市場や製造業者などに直接安全性などを確認しています。また23年12月から引き続き、それぞれの保育園で、給食使用食材の産地を公表しています。
9	津島市	地産地消の食材を使用するよう心がけています。市場に出ている食材は問題がないものと考えています。しかし、疑わしい食材と判断した場合は、(財)愛知県学校給食会が放射能物質の検査機器を導入していますので、持ち込み検査を行い、対応します。
10	碧南市	(愛知県の検査機関にて)食材の放射線量の検査を実施しています。
11	刈谷市	[教育総務課]小・中学校及び幼稚園の給食食材は、刈谷産→近隣市町産→県内産→近隣県産→国内産→外国産というように、できるだけ近場の産地のものから購入するようにしています。また、必要に応じて放射能測定結果の提出や、外部機関に放射能測定を依頼するなどにより安全な食材を使用するようにしております。また、保育園の給食食材については、地元、地域で取れる産物を取り入れる地産地消に努めていますが、それ以外の物につきましては、産地を確認し安全管理に努めます。
12	豊田市	※文書回答なし
13	安城市	平成24年6月より給食に使う食材について、放射能検査を行っています。
14	西尾市	食材につきましては、地産地消を心がけて地元(市内又は県内)の食材を調達するようにしています。季節的に地元で調達できない場合は、産地確認をして安全な食材を確保しています。
15	蒲郡市	注意深く、安全な食材選択に努めます。
16	犬山市	国による「食品中の放射性物質の新たな基準値」が今年度4月に設定され、規制が厳しくなりましたので、市場に出回っているものは厳しい基準をクリアした物であると考えております。また、これまでも野菜を中心になるべく愛知県産や岐阜県産など、近隣の食材を使うよう努めてきました。今年度4月末には地元農家の方を中心とした「犬山子ども食育応援団」が発足し、地元野菜の納入について協力体制が整いました。
17	常滑市	食品の安全と安心の確保に万全を尽くします。
18	江南市	現在センターでは、江南市産を含む愛知県産を中心とし、東北地方以外の食材の納入を心がけています。また、食材の納入にあたっては、センターで食品の納入時に安全の確認ができない食品は、交換や使用中止を行っています。
19	小牧市	平成24年10月より、放射能測定を開始し、市のホームページで公表しています。
20	稲沢市	一般社団法人愛知県薬剤師会と放射性物質検査業務委託を契約し、小中学校と給食センターを合わせて11施設で学期ごとに1回、年3回の実施をしています。
21	新城市	愛知県のモニタリング事業を実施していきます。
22	東海市	安全で安心な給食を提供し、保護者の不安を取り除くため、放射能測定器を購入し、食材の測定を実施します。
23	大府市	公益財団法人愛知県学校給食会へ食材の放射線測定検査を依頼しています。学校給食で使用する食材は、地産地消を推進する観点から、できるだけ地元の食材を使用するようにしています。

市町村名		放射能被ばくから子どもを守るため、食の安全管理を万全にしてください
24	知多市	県内産の食材を使用し、地産地消に努めるとともに、放射性物質の検査対象区域となっている17都県産の食材を使用する場合は、厚生労働省が公表する食品中の放射性物質の検査結果により基準値超過科目でないことを確認した上で納品を受けています。愛知県学校給食会では、取扱物資に対する放射性物質の検査を行っていますので、それを活用し、17都県産の青果物を持ち込み検査をしております。今後も、更に安全でおいしい給食の提供を行っていきます。
25	知立市	平成24年度6月1日から、学校給食で使用する食材(青果物:東日本産)について放射線量測定を実施し、学校給食の安心、安全に努めて参ります。
26	尾張旭市	(学校給食センター)学校給食センターでは、「地産地消」を基本とし、食の安全管理に万全を期しております。また、放射能測定器を導入し、一部ですが食材の放射能測定を実施しています。今後も、「食の安全」について万全を期し、努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。 ●放射能測定結果等については、平成24年9月5日から公表を実施しています。毎週木曜日に給食センターで調理する食材(1、2品目)を水曜日に測定し、測定日当日にホームページで結果を公表しています。
27	高浜市	学校給食で使用する食材については、安心・安全な国内産のものを、また地場産物の使用を推進しており、安全管理には常に注意を払っているところであります。
28	岩倉市	平成24年4月1日から食品中の放射性物質の新たな基準値が設定され、より一層の食品の安全が確保されています。当市では、現在市場に流通されているものは安全であるとの認識をしています。その上で、市内、県内でとれる農産物をできる限り取り入れる地産地消に努めています。また東日本の17都県産については、放射性物質検査結果を提出させ安全を確保しています。
29	豊明市	豊明市は、給食の安全性を確認し子どもの健康管理に資するため。市立小中学校及び保育園の給食について、厚生労働省の「地方自治体の検査結果について」に基づく対象17都県で生産された給食に供する品目は放射性物質の線量を測定しています。
30	日進市	市場を通った食品は安全が確保されていると考えておりますが、(公財)愛知県学校給食会の放射線量測定や食材についての放射能測定結果などの提出による安全確認も実施しているところであり、今後も食材の安全管理には十分に注意して安全な給食づくりに努めます。
31	田原市	放射線被ばくから子どもたちを守るため、今年度補正予算で環境放射線モニタを購入しました。17都県産の食材のうち23年7月以降の放射能検査で基準値を超えた食材について、同都県産の同食材が給食用食材として納入された場合に、この環境放射線モニタで放射線を測定し、異常があったときには使用を中止し、放射能検査(外部委託)を実施することとしています。それとは別に県が実施する平成24年度学校給食モニタリング事業(食材の放射性物質の有無及び量を測定)に協力し、今年度4週間分の食材などを検体として提供することとなっています。
32	愛西市	現在では、当市でも社会情勢や原発等の知識を鑑み、現況に応じ出来る限り安全な食を使用してまいりたいと考えております。
33	清須市	本市としては、「市場調査のうえ、流通している食品は安全である。」と考えています。しかしながら、児童生徒への安全担保として、県が実施した「学校給食モニタリング事業」への参加、県学校給食センターへの総理大臣指示の17都県産青果物の持ち込み放射性物質検査を実施しています。
34	北名古屋市	給食の食材選定につきましては、放射性物資に汚染されていない食材を使用するよう万全を期しております。
35	弥富市	学校給食の安全性を確認し、児童生徒の健康管理に資するため、学校給食で使用する、総理指示対象自治体及びその隣接自治体で生産された学校給食に供する食材について、毎月愛知県学校給食会検査課へ放射線量の測定を依頼しています。
36	みよし市	※文書回答なし



市町村名		放射能被ばくから子どもを守るため、食の安全管理を万全にしてください
37	あま市	給食センターとしましては、現在17都県からの食材に関しては簡易測定器及び測定機器で測定をし、安全安心な学校給食を提供していきます。
38	長久手市	給食食材の購入にあたっては、できるだけ配慮をしています。
39	東郷町	給食用物資選定の際に、各業者から食材の産地をはじめとした成分表などを添付するようにしていますが、特に必要と考えられるものには、放射能測定検査結果を提出するようにお願いしています。今後においても継続し、子どもたちにとって安全・安心できる給食を提供していきます。
40	豊山町	給食センターで使用する食材については、主に愛知県産及び以南産を使用するよう努力していますが、止む無く、厚生労働省から指定を受けている17都県産地のものを使用する場合には、厚労省や農林水産省のHP等の調査結果を基に安全確認を行い使用しています。今後、検査の必要が生じた場合には民間検査機関に調査委託することも考えております。
41	大口町	基準値を超える食品が市場に出回ることのないようになっているため、市場に出回っている食品は安全であると考えております。
42	扶桑町	放射性物質に心配のある食材については、納入業者により放射性物質検査結果を取り寄せ安全を確認しています。また、町独自で環境放射線モニタを使用し野菜類を毎日計測して安全を確認しています。
43	大治町	国の安全基準を満たした食材を利用するなど安全に配慮している。
44	蟹江町	国の安全基準以下の食材を使用しています。
45	飛島村	学校給食会において、放射線検査済の食材を使用しています。また、愛知県が実施する給食モニタリング調査に参加していますが、これまでも一度も放射線は検出されていません。今後も愛知県と連携を図りながら、給食のモニタリング調査を実施していきます。
46	阿久比町	給食に使用する食材は、地産地消を推進しており県内産を優先的に使用している。その他の食材を使用する場合は、産地を確認して使用している。
47	東浦町	学校給食の材料の購入にあたっては、地産地消を基本として選定しております。その他の地域からの購入については、厚生労働省が示す基準値(一般食品1キログラム当たり100ベクレル、牛乳、乳児用食品は50ベクレル、飲料水は10ベクレル)により、国及び検査対象区域の17都県では、食品の放射性物質検査を実施し、基準値を超える食品が流通することがないものと考えております。
48	南知多町	放射線検査を平成23年度より県給食会に依頼している。
49	美浜町	県が実施する検査計画、出荷制限品目に注視し、県の指示、要請を忠実に厳守して安全な学校給食運営に努めます。
50	武豊町	学校につきましては、地産地消を基本に食材を調達しております。調達する食材の産地については、武豊町産を最優先に、次に知多半島産、愛知県産、国産、最後に海外としています。納入業者にも十分に説明をしています。また、やむを得ず放射能汚染の虞のある地域(東北地方始め16都県)の食材を使用する場合は、放射能検査を実施し安全の確認をしています。
51	幸田町	17都県産(東日本)産の物資使用の場合には、加工品については放射性汚染の検査結果の提出を義務付け、また青果物については事前検査を検査機関等へ依頼することとして、安心安全な給食の提供に努めてまいります。東北方面からの食材については、現在、保育園では使用しておりません。
52	設楽町	努めます。
53	東栄町	特に対策をとっておりません。
54	豊根村	愛知県学校給食会に依頼して、放射線量の測定をしている。